

創立者 田中壽一氏の言葉

天地に万古あれど、此身再び得られず。倖い此間に生まれ得るものは須らく人生の楽しみをしらねばならない。人の生涯の意義は天職を完うするにあり。天職なくしては人生はない。天地の理を窮め、もって之の天職を全うし、人の道を踏み、以て社会の文化と福祉の向上を図るために、学問をするのである。

本学は知識の蘊奥を究明し、その理論を応用するところであり、天職を最も完全に尽くす礎を築くためにある。是れ吾人の本学園を設立せる所以である。

即ち本学はこのために修学させる処であつて、決して立身や、致富を目的とするものではない。

人各々に選ぶ処の学を精進すれば、自ら達人となる。即ち国家有用の材となることを得れば社会的地位の如きは自ずから来るのである。孔子は『学は禄を求むるにあらず、学べば、禄自ずからこの内にあり』といったが、之が即ちその意味である。之に反して人若し名のため財のために学問するならば、その結果は利己となり、排他となり、即ちその目的は天職を楽しむにあらざるを以て、己の職業に興味なく、その人生に意義を失い、後にその一生を空費するにすぎぬであらう。

斯かる排他的思想の潜在するうちに、修学を踏むならば、世界の平和はあり得ず、鬭争の連続する社会が実現することとならう。本学は斯かる行程を排斥するものであり、天職を自覚して、社会に貢献することのみ全生涯を捧げるための士を養成することを目的とする。この建学の精神は将来に亘り貫徹せられるべきものと、固く信ずるのである。